



## 2. 教育委員会点検評価重点課題 取り組み状況

	事業名	令和7年度重点課題	取り組み状況 (10/31現在)	備考
1	人権・同和教育推進事業 【地域等での人権・部落問題研修会及び子ども向けの人権学習】	地域住民によって構成された行政区等において、人権・部落問題研修会が開催されるよう、積極的に働きかける必要があります。 各審議会等においても、人権・部落問題研修会の開催を促す必要があります。 社会状況に応じた個別の人権課題及び地域のニーズに合った研修内容となるよう工夫改善に努める必要があります。	・地域・学校等での人権・部落問題研修会開催回数 (12回)  ・パネル展等の研修会開催回数 (2回) 7/1～7/30 本庁舎ロビー 8/1～8/30 うすい人権啓発センターあかつき 12/1～12/28 碓井図書館 (開催予定)	
2	人権・同和教育推進事業 【事業主人権・部落問題研修会】	事業主研修会では、研修会開催に向けて関係部署と連携・協議し、より多くの事業所が参加するような研修会にしていく必要があります。	・事業主人権・部落問題研修会参加事業所数 (76事業所) 11/18開催	
3	人権・同和教育推進少年団 体育成事業【解放子ども会】	補助事業の目的及び内容となっているか、注視し、引き続き審査を行います。 また事業展開が子どもたちの人権学習の深まりとなっているか、今後も継続して支援を行う必要があります。	・解放子ども会運営委員会への参加回数 (3回) ・解放子ども会学習内容協議への参加回数 (8回) ・解放子ども会への参加回数 (13回)	
4	人権・同和教育推進団体育 成事業【解放学級】	学級生の自主的・主体的な学習活動を引き続き支援し、学習内容の工夫・充実を図る必要があります。 学びの継続が必要であり、学習の機会を持つようとする意識になるよう働きかける必要があります。 地域の協力を得ながら、学級生の拡大を図る必要があります。	・解放学級数 (5学級) ・識字学級数 (1学級) ・合同研修会の開催回数 (1回)	
5	人権・同和教育推進団体育 成事業【識字学級】	識字学級では、文字を獲得することで、生きることへの自信や喜びに繋がり、また人権・部落問題の学びを継続して支援することが必要です。	・識字学級数 (1学級)	